

中田光
急須展
遇茶
喫茶



2020年3月7日(土)－15(日) 会期中無休 *3月14日(土) 中国茶会

GALLERY
うつわノート

料金後納
ゆうメール

中田光 急須展 遇茶喫茶

2020年3月7日(土)～15日(日) *3月14日(土) 中国茶会
営業時間 11時～18時 作家在廊日 3月7日・14日
ギャラリーうつわノート 埼玉県川越市小仙波町1-7-6

群馬県桐生市の中田光さんの個展です。従来より茶器に拘ってきましたが、今回は急須(ポット、茶壺含む)のみに絞った内容になります。美大当初は情報デザイン学科に在籍し、大学院で転籍し陶磁を専攻修了しました。卒業後は敢えて産地を避け、現在の地にて活動しています。手掛ける作風は李朝、高麗、安南、焼締めなど特定の様式に留まりませんが、全般的に土味を活かした風合いが特徴的です。同じ茶器でも茶碗でなく急須を選んだ理由として、観念的評価よりも機能性など明解な結果を得易いからとの考えです。しかしながら今展では外形的な様式、機能性を踏まえつつも、その根底にある仏教美術に通じる意識を捉えたいと思っています。それゆえか象嵌や線彫文様も鳳凰 牡丹 宝相華などが多く見られます。その意に合わせてタイトルは碧巖録にある「遇茶喫茶」を選びました。茶に遇うては茶を喫す。即ち、悟りを得た人は淡々と暮らし、こだわりの無いそのままが仏道である、という意味で達観した境涯を表現しています。形から入りやがてその意識を越える、用途から内面的アプローチへの表明、楽しみな急須展です。店主

3月14日に台湾茶人・燕映辰さんをお招きしてお茶会を開催します。
1日2回 各回4名様(有料)の予定。詳細はネット上でご案内します。

1983年 神奈川県生れ
2006年 武蔵野美術大学 デザイン情報学科卒
2008年 武蔵野美術大学大学院 陶磁専攻修了
2013年 群馬県桐生市に築窯
2020年 現在同地で製作



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり]～[喜多院前]
駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス]～[喜多院]
車：ギャラリー専用の駐車場は北側(5～8番)

